



第 30 回例会報告(2月23日)

【 出 席 報 告 】

・会員数	54名	・出席数	25名	・欠席数	29名
・当日出席率	54.54%	・前々回修正出席率	100%		

<欠席会員> 青野(賢)、青野(淳)、藤田、原、檜垣(圭)、平尾、飯、菅、川上、光藤、村上(裕)、西本、越智(健)、越智(務)、大澤、竹田、田中、吉田、吉武
〔免除会員〕青野、原田、門田、金森、松本、宮本、村上、白石、高木、八木
<2/9 欠席補填>(1/31 今治南)檜垣(圭)、檜垣(俊)、桑森、光藤、大澤、島田、渡辺(易) (2/3 伊予三島)松木
(2/4IM)菅 (2/14 今治南)藤田、原、平尾、村上(裕)、越智(務)、竹田

会長報告・四国電力(株)今治支店長 楠本金也会員が、3月1日付けで大洲支店に転勤です。

幹事報告・3月29日(木)吹揚公園で清掃奉仕・早朝例会を開催。早朝6:30分清掃開始、7:00 寿殿にて例会。芋粥等朝食をご用意しております。雨天の場合は例会のみ開催。ロータリーバッジの着用をお願いします。

親睦活動委員会・お誕生日スピーチ・檜垣賢二会員：先日の吉武会員の卓話に感銘を受けました。最近の子供はかわいがられ過ぎて、自己主張が乏しいと思います。私の学生時代は学生運動の真っ只中で、喧騒の中、何とか自分を主張しようともがいていました。当時に妙に郷愁を覚える今日この頃です。



ロータリー創立記念例会

村上修三会長：1905年シカゴRCが誕生したときの最初の定款第一条に本クラブ会員の事業上の利益の増大を図るとありました。しかし、1906年、弁理士のドナルド・カーターがRCに勧誘されたときに、社会奉仕の理念が芽生えました。カーターは、会員以外の人の利便も計らねばそのクラブに将来性はないと考え、入会后、何らかの市民に対する奉仕をすべきと思い、後に綱領を拡大しました。言い換えれば、社会に対し存在価値を示さないといずれ衰退すると予言したわけです。ここで、私が着目したのは存在価値というキーワードです。自分のクラブの存在価値を、自分たちの奉仕の価値を認められることこそが、ロータリアンとしての個人の誇りやクラブのプライドとなっているのです。最近、早期での退会が問題になっていますが、自分の存在価値が認められれば、入会数年で退会する気にはならないと思います。いいクラブにするには、いいロータリアンを育てなくてはなりません。他クラブで、著名なロータリアンを3ヶ月に一度呼び、勉強会を開き、他クラブの有志も参加しており、感心しました。



<ゲスト> アキクリニック院長 平田勝豪様

次 回 例 会 (3月1日)

【 国際奉仕委員会アワー 】

< 会員誕生日祝 >	藤田 聡司氏 (3/1)	
< 配偶者誕生日祝 >	尾越 優氏 (3/7)	
< 結婚記念日祝 >	近藤 正人氏 (3/4)	飯 忠悟氏 (3/5)
< 入会記念日祝 >	檜垣 賢二氏 (3/1)	西信 正男氏 (3/2)

{ 国際ホテル }